

<p>【技術の名称】 省アンカーアウトフレーム耐震補強工法 -連結鋼管を用いた新設スラブと既存スラブの接 合方法-</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第13-30号 性能証明発効日：2014年4月8日</p> <p>【取得者】 株式会社奥村組</p>
---	---

【技術の概要】

本技術は、バルコニーなど建物の外部に跳ね出しスラブを有する既存建物の外側に、補強架構を構築し耐震化を図る耐震補強工法に適用される。既存建物と補強架構は新たに設けるスラブ（新設スラブ）により接合されるが、新設スラブは既存スラブより下に位置するため、一般に新設スラブのコンクリート打設は既存スラブに設けた打設口より行われる。本技術は、その打設口に鋼管を設置し、新設スラブと既存スラブを接合する技術である。本技術により、補強架構と既存建物は、あと施工アンカーに加え連結鋼管によっても接合され、その鋼管にあと施工アンカーが負担すべきせん断力の一部を負担させることが可能となる。

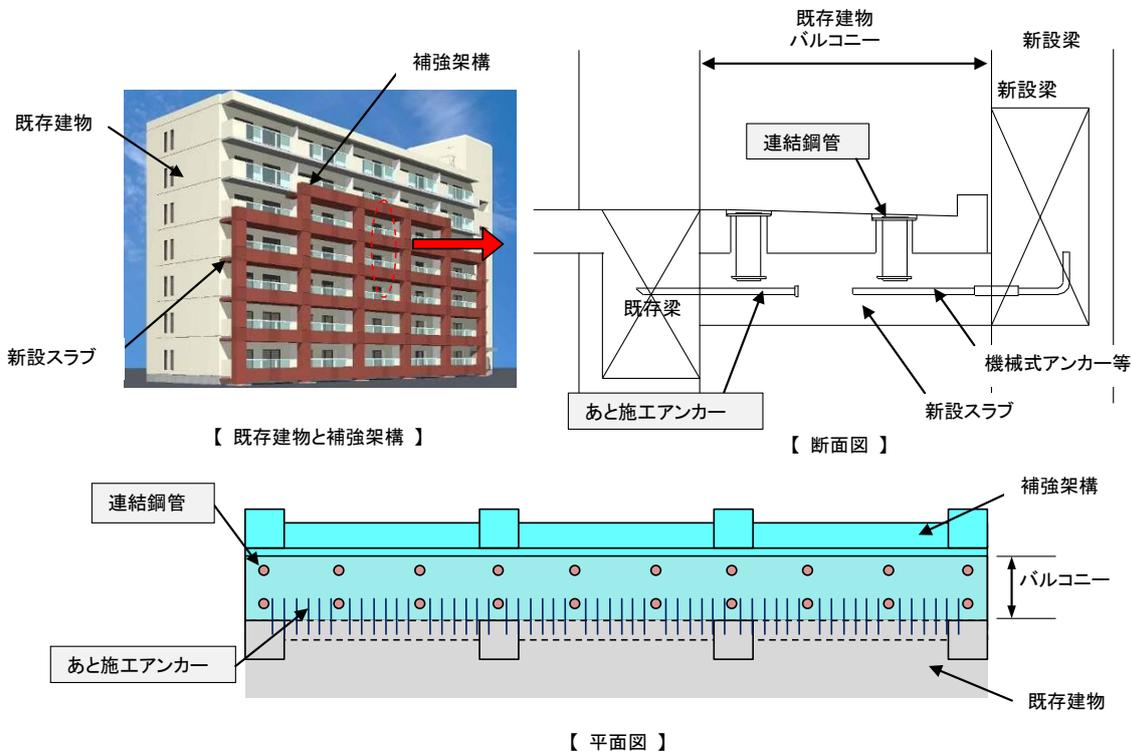
【技術開発の趣旨】

従来の耐震補強工事では、既存建物と新設スラブとの接合に多数のあと施工アンカーを使用する。あと施工アンカーの施工に伴い、工事期間中、騒音、振動、粉塵などの問題が生じる。本工法は、これらの課題の解消または軽減を意図して開発されたものである。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「省アンカーアウトフレーム耐震補強工法 設計施工指針」に従って設計・施工された既存建物と補強架構の接合部は、同指針に定める接合部強度および剛性を有する。



【本技術の間合せ先】

株式会社奥村組 技術研究所 担当者：岸本 剛
 〒300-2612 茨城県つくば市大砂387

E-mail: takeshi.kishimoto@okumuragumi.jp
 TEL: 029-865-1809 FAX: 029-865-1522